

おぼらだい3いせき  
おぼらだいほうらいあと

## 小原第3遺跡 小原台堡壘跡

(横須賀市No.466・477 遺跡)

調査期間 20110316～継続中

所在地 横須賀市走水

時代 近代



作成日:20120514

### 概要

本調査は南関東防衛局による防衛大学校食堂棟新設に伴う事前調査として実施しています。これまでの調査によって、小原台堡壘と呼ばれる明治時代の軍事施設について、その全容が次第に明らかになってきています。

検出した遺構は、堡壘の外周を囲む空壕や、その空壕のさらに下をくぐって外面側の施設へぬける地下通路、地下通路に連結された換気坑などの堡壘の防衛に関わるものや、空壕の内側には連房状の小部屋が設えられたと考えられるレンガ構造物とそれらの出入口を結ぶ通路、排水施設など。さらに連房状のレンガ構造物に隣接して貯水タンクや浄水施設なども見つかっています。

文献等の記録では、これらの遺構群は大正二(1914)年に堡壘としての役割を終え、陸軍工兵による爆破演習、翌年の大正三(1915)年には近衛第1師団工兵隊による演習によって破壊されたとあります。これまでの調査で小原台堡壘そのものの遺構のほかに、上記の爆破演習時のものと考えられる爆破の痕跡を示す巨大な大穴や爆破されたレンガ・コンクリートの構造物なども観察されています。



▲ 空壕



▲ 連房状レンガ構造物



▲地下通路